

「青少年教育指導者講習会」

～人間関係づくり (PA) の実践から手法・理論を学ぶ～

- 1 趣 旨 青少年教育施設の職員や教育関係者が集まり、人間関係づくりに関する研修を行い、指導に関するノウハウ等の情報を交換し、指導技術を高めると共に、研修の成果を山陰・山陽地方の学校や団体に広く普及することを目的とする。

2 事業の概要

- (1) 期 日 平成 29 年 11 月 21 日 (火) ～ 22 日 (水)
- (2) 場 所 鳥取県立大山青年の家、大山町立大山小学校
- (3) 協 力 島根大学教育学部附属教育支援センター、鳥取県立船上山少年自然の家、鳥取県立大山青年の家、島根県立青少年の家 (サン・レイク)、島根県立少年自然の家、広島県立福山少年自然の家、島根県教育庁社会教育課、鳥取県教育委員会社会教育課、大山町立大山小学校
- (4) 対 象 山陰・山陽地方にある青少年教育施設等で青少年教育に携わっている職員、教育関係者
- (5) 参加者 34 名(募集 30 名程度)
- (6) 講 師 門田 卓史氏 (e d u - a c t i v a t o r s 代表取締役 トレーナー)
- (7) 日程・研修内容

11/21 (火)	11:00	11:30	12:30	13:00	14:00	16:00	16:45	17:30	19:30	21:30	22:00	
	入 所・ 受 付	開 会 行 事	オ リ エン テー ション	参 観 視 点 の 確 認	昼 食	会 場 移 動	[研修①] 人間関係づくりプログラム 参観 (指導参観) 講師：門田卓史氏 協力校：大山町立大山小 学校 4,5 年生	[研修②] 解説・ 質疑・応答	会 場 移 動	入 浴 ・ 休 憩	夕食・ 情報交換会	就 寝 準 備

11/22 (水)	6:30	8:00	9:00	~	12:00	13:00	14:00	14:30
	起 床	身 辺 整 理	朝 食	[研修③] 講義・演習 PA理論をベースと した人間関係づくり	昼 食	[まとめ] ・ふりかえり ・質疑、応答	閉 会 行 事	解 散

3 事業の内容

(1) 事業の特色

青少年教育施設の職員や教育関係者が集まり、山陰・山陽 6 施設の特性を生かしたプログラムを実際に体験することを通して、指導に関する手法を学び、情報交換を行う。プロジェクトアドベンチャ

一(PA)の考え方をベースとした人間関係づくりの普及、発展に取り組んでおられる方を講師に招き、講義や演習を通して、「人間関係づくり」の理論や手法について学ぶ。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

研修①では、「人間関係づくり」の手法を学ぶということで、人間関係づくりのプログラムで、講師が実際に小学校高学年の子供たちへ、どのようなファシリテートや関わり方をするのかを参観する場面を設定した。続く研修②で、講師の方から研修①のプログラム構成やアクティビティのねらい、意図などを学んだ。研修③では、講義・演習によりPAについての基礎的な考え方を学びながら、それぞれの施設・学校で活かせるように、実際に「人間関係づくり」のアクティビティを体験することでねらいや手法について詳しく学べるようにした。

4 成果と課題

《成果》

- ・講師として、e d u - a c t i v a t o r s 代表取締役の門田卓史氏を迎えた。門田氏は昨年度も青少年指導者講習会の講師を務めており、研修会の趣旨を十分理解した上で指導を行っていただいたことで、参加者から「とても勉強になった。」「次回の講師も門田氏にお願いしたい。」という声が多く聞かれた。
- ・大山青年の家の近くの大山町立大山小学校の協力を得て、実際に小学生を対象にした人間関係づくりのプログラム参観が実現した。参観の前に、参加者がお互いの参観の視点を確認し合ったことで、活動を見る視点が焦点化され、研修内容をより深めることができた。
- ・山陰地方の4施設と広島県立福山少年自然の家以外にも、鳥取県教育委員会、小学校、公民館からも参加があった。「人間関係づくり」について、様々な立場での考えや課題について情報を交換でき、大変有意義であった。

《課題》

- ・「講師による実際の指導を見ることができて良かった。」という感想があった一方で、講師の門田氏からは「講師の実践を見ることも勉強になるが、一時的な学びである。施設の職員が実践するのを見て、講師が講評をする方が学びとして効果的である。」との言葉をいただいた。また、参加者からは「各施設の特色を生かしたプログラムについて研修をしたい。」との声もあった。これらの意見をもとに、次回に向けて会場となる島根県立青少年の家と連携を取りながら、ニーズに合った研修テーマや講習会の内容を検討する必要がある。
- ・開催施設地域の学校に広報を行ったが、なかなか参加には至らなかった。研修の成果を広く普及するためにも、開催施設地域の学校が所属する教育研究部会等に早めに働きかけを行って、講習会への参加を呼び掛けるなど、広報の仕方を検討する必要がある。



大山町立大山小学校での人間関係づくりプログラム参観。



講義・演習を通してPAの概念・考え方を学んだ。



研修の振り返り・今後の課題等について意見交換を行った。

(担当：企画指導専門職 辻田 渉)